

西区の サクラ

春のにおいにさそわれて

春、といえばサクラ。もうすぐいっせいに芽をふき、花を咲かせます。西区にもサクラの名所がいっぱいあります。そこで、ちょっと早いようですが、主なところを紹介します。

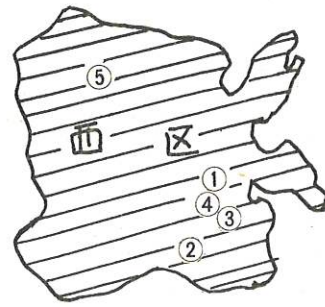
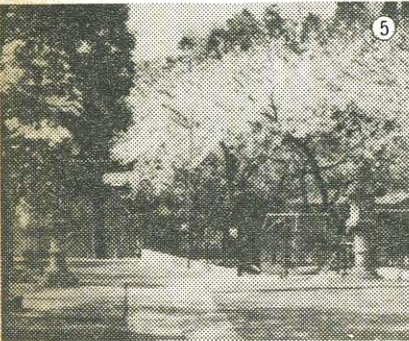


●掃部山公園—この公園はサクラの名所といえる。特に井伊掃部頭の銅像のまわりには10数本のヤエザクラなどがあり、全体で160本余りある。満開になればさぞみごとなものだ。掃部山青少年の家の池田さんは、次のように語ってくれた。「4月ごろになると、来園者が多くなりますね。金曜日の夜は花見見物の人が大勢あつまり大変にぎわいです」。

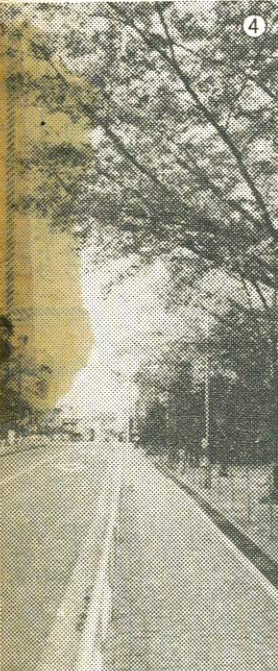
●野毛山公園—野毛山一帯は数多くのサクラがある。野毛山公園では公園を囲むように、動物園の中では道をおおように植わっている。メジロやヒヨドリがサクラの花の蜜を吸いに集まると説明の札に記されている



●浅間神社—赤い鳥居をくぐると両側に、ソメイヨシノなどのみごとな桜の木が目にはいる。社務所の吉田さんの話によると、戦後20年代に植えたもの。初め100本近く植えたのに、今では30本位に減ってしまったとか。しかし、日あたりがよく、あっというまに大木に育ったという。御社殿を赤く塗りかえたので、桜の花とマッチしたいへんきれいだ。



●紅葉坂—県立音楽堂、県立図書館などが立ち並ぶ紅葉坂の両側にサクラの木が並んでいる。明治から大正にかけてこのあたりはサクラの名所だったという。西区と中区をつなぐ赤レンガの歩道を歩くと、私たちの心をなごませてくれる。



●伊勢山皇太神宮—毎日お参りにくる河合和歌子さん(70歳)は「家が伊勢山皇太神宮の下にあるので、4月になればきれいなサクラが見えますよ」と話をしてくれた。社務所の人によると、樹齢100年というサクラもあるそうだ。震災や戦災にも生き抜いてきたわけだ。

